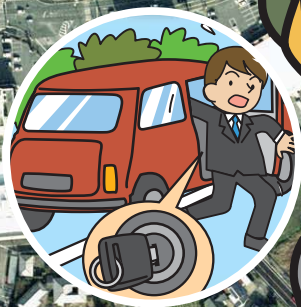


豊後高田市

津波ハザード マップ

津波避難地図



保存版

平成25年3月

豊後高田市

防災に関するの
お問い合わせ先

豊後高田市役所(総務課) TEL 0978-22-3100

※防災に関する情報は豊後高田市ホームページでも公開しています。<http://www.city.bungotakada.oita.jp/>

防災関係機関等の連絡先

警察…**110** 消防・救急…**119**

豊後高田市役所(高田庁舎)／御玉114……………22-3100

真玉市民センター(真玉庁舎)／中真玉2144-12……………53-5111

香々地市民センター(香々地庁舎)見目110……………54-3111

豊後高田市消防本部・消防署／御玉147……………22-3108

豊後高田警察署／是永町32-1……………22-2131

豊後高田土木事務所／是永町39……………22-2285

大分県北部振興局／宇佐市大字法鏡寺235-1……………32-1170

防災メモ

わが家の避難所				
家族の集合場所 (家族が離ればなれになった時)				
災害時の緊急連絡先				
持ち出し品の置き場所				
家族の名前	生年月日	血液型	既往症	会社・学校の連絡先

避難時持ち出し品リスト

チェック実行日

● 食料品関係

- アルファ米:一度炊いた米を乾燥させたもので、お湯や水を注ぐだけで食べられます。
- 飲料水(一人一日3リットルが目安) スポーツドリンク
- 缶詰／缶切り レトルト食品 菓子類(チョコレートなど)
- ※乳児のいる家庭は、
 母子健康手帳 粉ミルク・ほ乳びんなど

● 貴重品

- 現金 預金通帳・印鑑 保険証・身分証明書 携帯電話など

● 日用品関係

- ラジオ 懐中電灯 予備の乾電池 ライター・ろうそく(ビニールに入れて防水) 軍手 マスク
- ごみ袋 ティッシュ ウェットティッシュ トイレトペーパー ラップ わりばし 筆記具・ノート 笛(救助用)

● 医薬品

- 消毒薬 胃腸薬 脱脂綿 ばんそうこう
- 包帯・ガーゼ 持病の薬 紙おむつなど

● 衣類関係

- 運動靴 下着 防寒着(ジャンパー)
- 帽子や防災頭巾 雨具 タオル スリッパなど
- ※ 寝袋や毛布 アルミシート
- サバイバルシートなども重宝します



発生が予想される地震

南海トラフは、二つのプレートが衝突して海洋プレートが沈み込んでいるため、非常に活発で大規模な活断層です。南海トラフの各所では、東海地震、東南海地震、南海地震などのマグニチュード(M)9クラスの巨大地震が約100年から200年ごとに発生しています。

■南海トラフの海溝型地震

領域又は地震名	発生確率(%) 30年以内	地点	最大津波高 (TP.m)
東南海地震	70~80%	高田港	2.77
南海地震	60%程度	真玉浜下	2.77
		香々地見目	2.80

別府湾一日出生断層帯は、東部と西部がそれぞれ単独で活動すると推定されます。東部が単独で活動した場合、マグニチュード7.6程度の地震が発生する可能性があり、別府湾一日出生断層帯全体が同時に活動する場合、マグニチュード8.0程度の地震が発生する可能性があります。

周防灘断層群主部は、全体が1つの区間として活動する場合、マグニチュード7.6程度の地震が発生する可能性があり、地震発生の長期確率には幅がありますが、その最大値をとると、周防灘断層群主部は、今後30年の間に地震が発生する可能性が、我が国の主な活断層の中では高いグループに属することになります。



図一 波源断層位置

■活断層型地震(変動なし)

活断層名	発生確率(%) 30年以内
別府湾一日出生断層帯(東部) (別府湾断層帯)	ほぼ0
大分平野一湯布院断層帯(東部) (別府地溝南縁断層帯)	0.03~4
周防灘断層群(主部)	2~4

■別府湾

地点	最大津波高 (TP.m)
高田港	2.23
真玉浜下	2.18
香々地見目	2.27

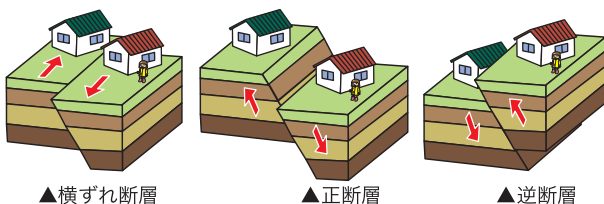
■周防灘断層群主部

地点	最大津波高 (TP.m)
高田港	2.29
真玉浜下	2.69
香々地見目	3.09

◆地震発生のメカニズム

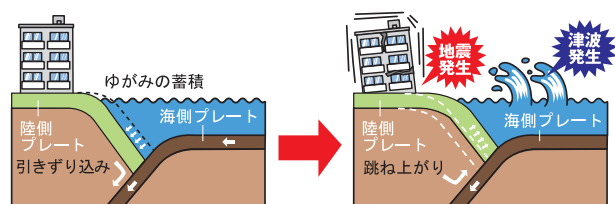
活断層地震

地下にある岩盤に、押し合う力や引っ張り合う力が加わることで内部にゆがみのエネルギーがたまり、これが限界に達したときに、ある面(断層面)を境に地盤がずれ動き、地震が起こります。



海溝型地震

陸側のプレートが海側のプレートに引きずり込まれることで境界にゆがみのエネルギーが蓄積され、これが限界に達したときにプレートが元に戻ろうとして跳ね上がり、地震が発生します。



医療機関

安部内科／玉津415……………22-2109	せぐち内科／玉津1316-1……………23-0066
井福医院／新町2011……………24-2002	高田中央病院／新地1176-1……………22-3745
鷺海医院／玉津357……………24-1103	千嶋病院／呉崎738-1……………22-3185
くれさき循環器クリニック／呉崎1592……………23-1143	道野医院／美和1869……………22-2436
玄々堂高田病院／界378-2……………22-1134	野中医院／築地396-1……………27-3025
佐藤医院／浜町672……………22-2353	原田医院／中真玉2133……………53-4047
サンクリニック／見目3915-1……………54-2700	むなかた眼科クリニック／新町2017-1……………23-0880

ライフライン

上水道・下水道／市上下水道課／御玉114……………22-3100
電 気／九州電力(株)中津営業所／中津市中央1-2-5……………0120-986-501
電 話／NTT西日本大分支店……………固定電話からは113(携帯からは0120-444-113)
ガ ス／

※各家庭でご利用のガス会社をご記入ください。

県民安全・安心メール

あなたの携帯に大分県内の下記災害情報が届きます。



登録方法

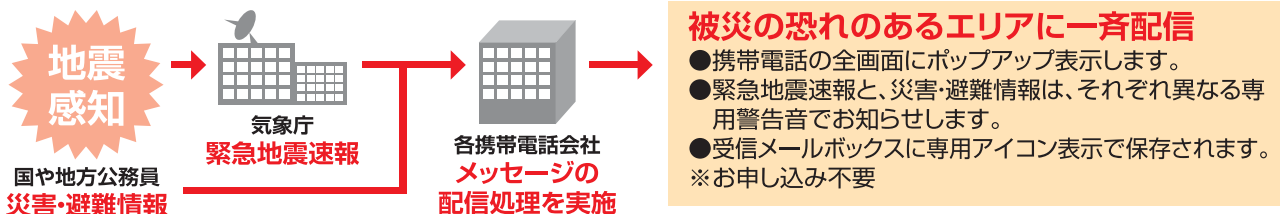
サイトの指示に従って
ご登録ください。

<http://www.bousai-oita.jp/>



エリアメール・緊急速報メール

携帯電話を利用した災害時専用の情報配信の仕組みで、気象庁が配信する緊急地震速報や豊後高田市が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずにしない滞在者が所持しているNTTドコモ、KDDI、ソフトバンクの携帯電話等(対象機種に限ります。)に一斉配信するものです。



被災の恐れのあるエリアに一斉配信

- 携帯電話の全画面にポップアップ表示します。
 - 緊急地震速報と、災害・避難情報は、それぞれ異なる専用警告音でお知らせします。
 - 受信メールボックスに専用アイコン表示で保存されます。
- ※お申し込み不要

エリアメール及び緊急速報メールを受信するためには、事前申込などは不要ですが、携帯電話の設定が必要になることがあります。受信設定方法及び対応機種などの詳細については、各携帯電話会社のホームページをご覧になるか、販売店にお問合せください。


NTT伝言ダイヤル 171

災害伝言ダイヤルは、大規模な災害が発生した際に、災害地域やその他の地域の方々との間で「声の伝言板」の役割を果たすシステムです。災害地の方々が録音した安否情報等を、その他の地域の親戚や友人等が、全国に設置された災害用伝言ダイヤルセンターを通じて再生することができます。伝言の録音・再生は被災地の方々の自宅の電話番号を使って行います。「171」をダイヤル後、ガイダンスに従ってご利用ください。

地震と揺れの解説

地震の揺れと想定される被害

※出典:気象庁「気象庁震度階級の解説」

震度 5弱 <ul style="list-style-type: none">●恐怖感を覚え、物につかまりたいと感じる。●棚にある食器類や本などが落ちることがある。●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	震度 6弱 <ul style="list-style-type: none">●立っていることが困難になる。●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。●耐震性の低い木造建物は傾いたり、倒れることがある。
震度 5強 <ul style="list-style-type: none">●物につかまらなさと歩くことが難しい。●棚にある食器類や本など、落ちるものが増える。●補強されていないブロック塀が崩れることがある。	
震度 6強以上 <ul style="list-style-type: none">●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。●耐震性の低い木造建物は傾くものや、倒れるものが増える。●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山全体の崩壊が発生することがある。	

地震発生時の心得

●身の安全を守りましょう

倒れやすい戸棚や本棚からすぐに離れ、頭を保護し、丈夫なテーブルや机の下に身を隠すこと。第一に身の安全を確保しましょう。



●すばやく火の始末をしましょう

「火を消せ!」と声を掛け合い、ガスコンロやストーブなどの火を完全に消すこと。もし消せない時は、揺れがおさまったら火の始末をします。火の始末が大きな被害を防ぎます。



●戸を開け出口を確保しましょう

特にビルやマンションなどでは建物がゆがむとドアが開かなくなるので、避難口の確保が重要です。逃げ道を失ったら避難できません。



●山やがけ付近

- 揺れを感じたら、できるだけ遠くに離れ、平らで安全な場所へ避難してください。
- 余震により土砂崩れが発生することがあります。また、緩んだ地盤が降雨で土砂崩れを起こすこともあります。安全が確認されるまで、山やがけには近づかないでください。



●スーパー・デパート

- ショーケースの転倒、商品の落下、ガラスの破片に注意してください。
- 柱や壁際に身を寄せ、衣類や手荷物など身近なもので頭を守りましょう。
- 店員の指示に、従って行動してください。



●住宅街

- ブロック塀や石壁、門柱などから離れてください。
- 屋根瓦やガラスの破片などの落下物に注意しましょう。手荷物などで頭を守ってください。
- 切れて垂れ下がった電線には触れないでください。



●車の運転中

- ハンドルをしっかり握り、少しずつスピードを落として道路の左側に止め、エンジンを切ってください。
- 揺れがおさまるまで車外に出ず、カーラジオで情報を確認しましょう。
- 車を離れるときは窓を閉め、キーをつけたままにします。ドアロックもしないでください。
- 車内にある車検証や貴重品などを持ち出しましょう。



津波対策

津波発生時の心得

日頃から津波が発生した場合の避難場所や避難経路、非常時の連絡方法などについて家族で話し合い、前もって決めておきましょう。

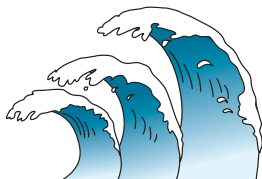
●津波はすぐやってくる!

注意報・警報が出る前に襲ってくる津波もあります。揺れを感じたらすぐに避難しましょう。



●津波は繰り返し来る!

津波は繰り返し襲ってくるので、注意報・警報が解除になるまで避難していきましょう。



●思わぬ時にも津波は来る!

揺れが小さかったり、遠くの地震でも津波が来ることがあるので、テレビやラジオ等の情報に注意しましょう。



●「高い場所」に避難!

海岸からできるだけ離れて「高い場所」に避難しましょう。



●避難する時は徒歩で!

住宅密集地や道の狭い地域、徒歩で早く高い場所に逃げられる家では車は使わないようにしましょう。



●津波は川をさかのぼる!

海岸だけでなく、川沿いの地域も津波に襲われることがあるので注意しましょう。



●間に合わない時は高台へ!

万が一、時間がなく間に合わない時は、近くの津波避難ビルや高台へ避難しましょう。



津波警報

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流出し小型船舶が転覆する。

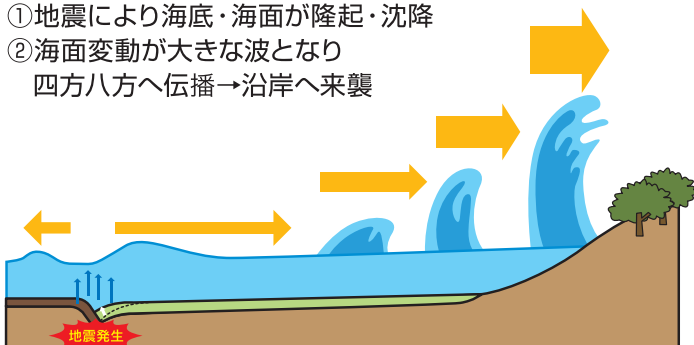
- 震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
- 津波は沿岸の地形などのえいきょうにより局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
- 地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」を発表します。

津波の解説

津波発生のメカニズム

●津波の発生

- ①地震により海底・海面が隆起・沈降
- ②海面変動が大きな波となり
四方八方へ伝播→沿岸へ来襲



海底下で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝播するものが津波です。

「津波の前には必ず潮が引く」という言い伝えがありますが、必ずしもそうではありません。地震が発生させた地下の断層の傾きや方向によっては、また、津波が発生した場所と海岸との位置関係によっては、潮が引くことなく最初に大きな波が海岸に押し寄せる場合もあります。

津波は引き波で始まるとは限らないのです。

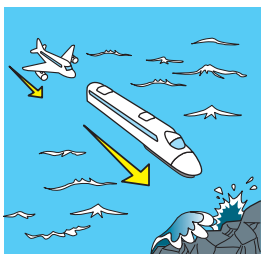
●津波の伝わる速さ

津波は、海が深いほど速く伝わる性質があり、沖合いではジェット機に匹敵する速さで伝わります。逆に、水深が浅くなるほど速度が遅くなるため、津波が陸地に近づくにつれ後から来る波が前の津波に追いつき、波高が高くなります。水深が浅いところで遅くなるといっても、オリンピックの短距離走選手なみの速さで陸上に押し寄せるので、普通の人々が走って逃げ切れるものではありません。津波から命を守るためには、津波が海岸にやってくるのを見てから避難を始めたのでは間に合わないのです。海岸付近で地震の揺れを感じたら、または、津波警報が発表されたら、実際に津波が見えなくても、速やかに避難しましょう。

津波の特徴

●津波のスピードは速い!

海を伝わる津波の速さは、沖合でジェット機並み、海岸付近でも新幹線並です。



●津波は海から来る洪水!

特に引き波は流れが速く、50cmの津波で海に引き込まれ行方不明になったケースがあります。



●引き波で津波が始まるとは限らない!

いきなり大きな波が襲ってくることもあります。



●津波の高さは想像を超える!

津波は長時間に渡り影響を及ぼす非常に波長の長い波で、海岸の地形によっては数倍の高さに達することもあります。



ため池の危険性

◆地震の揺れによるため池の決壊

豊後高田市は、昔から農業用水を確保するためのたくさんのため池が点在しています。巨大地震により、ため池の一部が決壊した場合、その土石流が下流域に流れだし水田、住宅街等が浸水する恐れがあります。実際の浸水区域は、ため池の貯水量、堤体の被害の程度、周辺土地の利用状況等により、異なる可能性があります。ため池は農業用水の供給だけでなく、洪水を一時貯留できる洪水調整機能をも有していますが、一度決壊すると大きな水害を引き起こす危険性も併せ持っています。

津波から避難する際、ため池周辺には行かないように注意しましょう。

主要なため池

十王池



石河内溜池



本名大池



並石ダム



丸山池

